

現行パターン

(霞が関) 「省庁連絡会議」

A省 B省 C省 …

各省庁は単独で支援
地方部局は縦割り

A省の
地方支分部局

B省の
地方支分部局

C省の
地方支分部局

…

(現行パターンの課題)

- ① 各省庁の地方支分部局が別々に支援
- ② 自治体側は複数部局と調整が必要
- ③ スピード感や支援の総合性が不足

パワーアップ

パワーアップ

徹底的に省庁の縦割りを排除

(例)〇〇縣市 医療/未病プロジェクト

- ① メイン事業a : 〇病院未病関連医師配置
ICT遠隔医療事業
- ② サブ事業b : 地区巡回バス自動運転
(サンドボックス活用)
- ③ サブ事業c : 高度化停留所の整備

「地域実装協議会」

<協議会の役割>

- (1) **ワンストップ支援** (制度運用・技術的な助言)
- (2) 関連予算の整合的執行 (PDCA管理)
- (3) **事業間の総合的な調整** (即地的、個別的調整)
- (4) 関係者の定期的な会合 (改善点の特定等)

<現地支援責任者の選定と研修の実施>

- (5) **省庁連絡会を通じ各省庁で人選し**、内閣府地方創生推進事務局(地創局)に併任
- (6) 発令後、速やかに地創局にて**関連研修を実施**

(参考)

A省地方支分部局	近未来技術実装統括担当官	a総合調整
B省地方支分部局	近未来技術実装担当官	b事業担当
C省地方支分部局	近未来技術実装担当官	c事業担当

(霞が関) 「省庁連絡会議」

A省 B省 C省 …